

人権学習展開例 第2学年

主題名 人権を取り戻すための学び

教材名 花—文字を識ること—

人権学習の視点 個別的な視点「同和問題」

主題・教材について 部落差別によって学ぶ機会を阻まれ、結果として文字を獲得できなかった人々は様々な困難にぶつかりながらも懸命に人生を送ってきた。その道のりを知るなかで部落差別の不合理さに気付かせるとともに、文字・人権を取り戻そうとする学びがあることを理解することで、人権や自らの生き方について今一度考えさせる契機としたい。

ねらい 識字学級に学ぶ女性の生き方を通して、部落差別の不合理さについて学ぶとともに、自ら人権を大切にしようとする態度を培う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○スペイン語のメニューを見せ、何が書かれているか考えさせる。 ○韓国語の鉄道路線図を見せ、目的地に行けるかどうか考えさせる。 	一斉	○外国語を見て、何が書かれているかを考える。	○読めないことを確認し、読めないことの不自由さ、不安を感じ取らせる。	資料集 「スペイン語のメニュー」 「ハンブルで書かれた鉄道路線図」	
展	文字を獲得できなかった背景を学ぶ。					資料集 「花」
	○第一段落を読ませる。	一斉	○第一段落を読み、学校へ通えなかった背景を理解する。			
	読み書きのできない辛さや苦労を知る。					
	○第二段落を読ませる。	一斉	○学校での学びが保障されなかったことが、後の生活まで苦しいものにしたことを理解する。	○文字を読み書きできないことが、生活の様々な場面で非常に大きな障壁となることをしっかりと受け止めさせる。		
開	識字学級のおばあちゃんに学ぶ。					ワークシート 項目①
	○第三段落を読ませる。	一斉	○奪われた学びや文字を取り戻すために努力している姿を知る。	○文字を獲得する活動が、人権を回復することにつながっている点をおさえる。		
	○おばあちゃんが文字とともに取り戻したものは何であったのかを考えさせる。	個別 一斉	○おばあちゃんが文字とともに取り戻したものは何であったのかを考える。	○文字とともに人として生きる権利を取り戻せた点にしっかりと着目させる。		
開	文字を奪ったものは。					資料集 「何が学ぶ機会を奪ったか」
	○文字を奪った原因について考えさせる。 ○「何が学ぶ機会を奪ったか」をもとに部落差別の不合理さ、解決に向けた現状を理解させる。	個別 一斉	○文字を奪った原因について「花」の内容から考える。 ○部落差別とはどのようなものか、その不合理さ、解決に向けた現状を理解する。	○学校に通えなかったのはなぜだったのか、という部分についてその原因をしっかりと考え、部落差別の不合理さを見抜き、それを許さない態度を持たせるようにする。 ○水平社以降の歴史を簡単に振り返りながら説明すると理解しやすい。板書例(手引P.42)		
	○北代色さんの「タヤけがうつくしい」を紹介する。		○北代色さんの直筆や文章にふれる。	○「花」のおばあちゃんと同じような体験をした人がたくさんいたこと知らせるとともに、文字を取り戻せた喜びを感じ取らせる。	資料集 「タヤけがうつくしい」	
まとめ	○学習を通して学び、考えたことを振り返らせる。	個別	○学習を通して学び、考えたことを振り返り、感想を書く。	○自分自身の生き方等と照らし合わせて考えられるようにする。	ワークシート 項目②	

評価

識字学級に学ぶ女性の生き方を通して、部落差別の不合理さについて学ぶとともに、自ら人権を大切にしようとする態度を培うことができたか。